

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)守口市早苗町計画 新築工事	階数	地上15F
建設地	大阪府守口市早苗町	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	236 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年3月 予定	評価の実施日	2020年2月6日
敷地面積	1,365 m ²	作成者	高橋 有香子
建築面積	382 m ²	確認日	2020年2月7日
延床面積	4,328 m ²	確認者	平野 公章



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83%

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.3

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	良好な都市環境を形成し、賑わいのある街並みを維持するよう努める計画とした。また高い外皮性能を計画し、省エネルギーで快適な室内環境を整えるように努めた。	その他 特になし。
Q1 室内環境	室内にはF☆☆☆☆建材を使用しており自然換気に必要な開口を設けることで室内環境の向上に努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内には積極的に緑化を取り入れ、地表面温度等の気温上昇抑制を図った。
LR1 エネルギー	品確法の断熱性能等級におけると等級4相当の断熱性能を確保することで、外皮の熱負荷抑制に努めている。	LR3 敷地外環境 建築物利用者のための適切な量の駐車、駐輪スペースを確保し、周辺道路に渋滞や路上駐車等を発生させないように努めた。
Q2 サービス性能	躯体の材用や内装材、設備配管に耐用年数の長い材料を使用し建築物全体の長寿命化を図った。	
LR2 資源・マテリアル	衛生設備機器等における節水型の器具を使用し、水質の資源保護に努めた。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】	建物名称	(仮称)守口市早苗町計画 新築工事
	建設地	大阪府守口市早苗町
	用途/区分	集合住宅

【評価結果】	CASBEE 総合評価		B+
--------	----------------	--	-----------

①	CO2削減		4
---	-------	--	----------

②	みどり・ヒート アイランド対策		3
---	--------------------	--	----------

③	建物の断熱性		4
---	--------	--	----------

④	エネルギー削減		4
---	---------	--	----------

⑤	自然エネルギー直接利用		○
---	-------------	--	----------

再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—	—
	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—	—

エネルギー消費量の報告		対象外
-------------	--	-----

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	4.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	4.0	4
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	○
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	-

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		